

ゆうあい



題字 初代総裁三笠宮崇仁親王殿下

共に生きる

2023. 7. 31 No.57

社会福祉法人 友愛十字会



りしりふじ
利尻富士

主 な 記 事

- 就任挨拶 友愛園 園長 小関 英利
..... 砧ホーム 園長 武井 安浩
..... 友愛荘 園長 鈴木 健太
..... 友愛荘 副園長 早田 政治
..... 港区立児童発達支援センター 副センター長 増山 あゆみ
○キャリアパス研修について 人材確保・育成推進室 陸田 光昭
○施設紹介 友愛デイサービスセンター 港区立児童発達支援センター
○工房アミ定員拡大 港区立障害保健福祉センター 工房アミ 施設長 吉岡 一樹

就任のご挨拶

友愛園 園長 小関 英利



令和5年4月1

日付けで友愛園の園長に就任いたしました。友愛園

は、皆様、ご存じ

の通り、障害者支援施設として入所施設を運営しております。東京都障害者・障害児施策推進計画（令和3年度（令和5年度）において、施設入所者の地域生活への移行を促進し、既存の入所施設について、地域生活への移行等を積極的に支援する機能を強化した「地域生活支援型入所施設」への転換が求められています。当園では、毎年、グループホームや単身生活に移行する方が1〜2名いらっしゃいますが、移行は希望地域の社会資源の状況やご家族の不安などによりご本人の希望通りにはできないことも多く、グループホームもまた「小さな入所施設」となりつ

つあって、移行ができれば良いという

ことでもないと考えています。当

園では、最近、地域のグループホームで生活していたが、病気などにより

重度化し、元の生活の場に戻るこ

とが叶わず、病院の転院を繰り返す

不安な生活となっていた方に入所し

ていただきました。ご家族との物理

的な距離も縮まり、頻回に面会がで

きるようになってとても嬉しかった

とのお話をいただきました。もし、

当園のような都内の入所施設がな

かった場合、都外や郊外の施設に移

行するか、療養型の病院を転院する

生活となっていたかもしれません。

国や都の計画の趣旨とは離れた受け

入れかもしれませんが、実はこのよ

うなニーズは多くあるのではないかと

考えています。入所施設のあり方を

しっかりと自覚しつつ、引き続き

友愛園の事業を安定的に運営してい

きたいと思います。皆様、引き続

き、ご理解とご協力をお願いいたし

ます。

就任のご挨拶

砧ホーム 園長 武井 安浩



令和5年度よ

り砧ホーム園長

に就任いたしま

した武井安浩と

申します。まず

は、私の略歴をご紹介させていただ

きます。

私の20代。初めて就いた職種は

営業職でした。当時は体力に恵ま

れ、勢いだけで仕事を進めていま

た。製品を販売する際には、特別

な技術を持たず運に頼っている部分

もありました。介護業界に足を踏

み入れた30代。この道に進む前は、

まったくの素人でありましたが、介

護の重要性に魅了され、学びの道と

なりました。通所介護事業所、訪問

介護事業所での職歴を経て38歳で

友愛十字会に入職しました。その後

40代の大半を砧デイで過ごしてお

ります。様々な利用者の方々と接

し、その暖かい笑顔や感謝の言葉から、介護の喜びとやりがいを強く実感することができました。そして、

令和3年度から砧ホームで部長としての責任を担う機会をいただき、この度、施設長として更なる責任を担うこととなりました。

砧ホームは、前任の鈴木園長が構築してくださった明確なビジョン、多職種協働原理や職員の価値である3つの愛「学び愛」「讃え愛」「成長し愛」があり、また、先進技術や理論の応用も実践し風土として定着しています。前述の良いところはもちろん継続し、さらに進化できればと思っています。まずは職員の個性を尊重し、それぞれの長所を活かすことができる職場にしていきたいと思っています。

今後とも、皆様と共に成長し、砧ホームをより良い場所にしていくために全力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

就任のご挨拶

友愛荘 園長 鈴木 健太



4月1日
付で友愛
荘園長（施
設長）を拝
命いたしま

した。砧ホームでは未来の介護を創造するプロジェクトをいくつも擁していただけに、異動の辞令を受けるにおいては後ろ髪を引かれる思いでしたが、友愛荘の改革が法人経営の至上命題であることは十分理解しておりましたので、一心、不転の覚悟で着任いたしました。同じく、早田副園長（前友愛ホーム副園長）と板垣主任介護職員（前砧ホーム主任介護職員）も異動となりましたが、異例の大型移籍に法人としての覚悟と、自らもその使命に重責を感じております。

また、同時に介護生産性向上推進

室長を拝命いたしました。介護ロボットやICTの活用における全国モデル施設である砧ホームはもとより、友愛荘においてもLINE

WORKSという職員間の情報共有システムやMCSという医療介護専用SNSが機能的に運用されているなど、お互い最先端の取り組みが展開されていますが、法人内の同じ事業種別の施設同士でありながら、これまで積極的な交流や連携は行えておりませんでした。介護における生産性の向上とは、介護の価値を高める活動を意味し、その目的は働きやすい仕組みや環境作りとサービスの質の向上です。友愛荘と砧ホームの架け橋となりながら統括的に生産性向上に資する取り組みを推進し、持続可能な施設づくりを目指します。

これからは、“砧ホームの鈴木”から、“友愛十字会の鈴木”として精励格闘いたします。一層のご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

友愛荘 副園長 早田 政治



令和5年4
月1日付け
で、特別養
護老人ホーム
友愛荘副園長を

拝命致しました早田政治と申します。私は、平成6年4月に友愛荘の介護職員として入職し生活相談員を経験後、世田谷の養護老人ホーム友愛ホームで約9年間経験を積ませていただきました。世田谷施設は、法人本部があり障害者施設、高齢者施設等複数の事業所があるため多職種職員が横断的に連携する機会が多く法人職員としての意識が醸成した時期でもありました。

友愛荘は令和3年6月に町田市図師町から南大谷に新築移転し、入所定員100名（ユニット型60名、従来型40名）とシヨートステイ事業10床の施設に生まれ変わりました。

た。市内には特別養護老人ホームが23か所あり有料老人ホームやグループホームなど高齢者入所施設が多く充実している地域です。市内の特別養護老人ホーム入所申込は全施設申し込み可能なため施設間の競争も激しいです。同時に、良い人材の確保も重要な課題です。更に、移転後もコロナ禍が続いていたため地域とのつながりを新たに構築していく必要があります。4月の赴任にあたり、鈴木園長（旧砧ホーム園長）から友愛荘の課題は多く、友愛荘の改革が法人経営の至上命題である旨の話がありました。私としては再び友愛荘で仕事ができることへの感謝と共に、この重責に非常に気が引き締まる所存です。一つ一つの課題に取り組みながら、法人理念である「共に生きる」と友愛荘の運営方針「あなたと共に」の実現を目指して参りますので、ご指導、ご鞭撻賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

港区立児童発達支援センター

副センター長 増山 あゆみ



令和5年
4月1日より、港区立
児童発達支
援センター

（以下ばお）の副センター長を拝命しました増山あゆみと申します。これまで放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援という3つの新しい事業の担当施設長として職員の皆様とともに「産みの苦しみの3年」と称して事業の枠組みの形成に努めてまいりました。その中で、様々な児童とその家族との出会いがあり、また他機関との連携の必要性を感じてまいりました。現在の児童は核家族化、両親の就労、受験の低年齢化、多くの習い事、SNSの普及など私たちが

育ってきた時代とは大きく異なる社会で暮らしています。児の発達支援には、それらの環境要因や他機関の役割を知ることが非常に重要と考えています。私の考える副センター長の役目は、ばおのことを知っていただくとともに、他機関とのつながりを深めるいわば「外務大臣」と感じています。そして次の「育ちの5年」の中で職員の専門性を高め、地域の支援力向上にばおが役立つ存在となるよう尽力したいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

キャリアパス研修について

人材確保・育成推進室

委員 陸田 光昭

友愛十字会では、令和3年度から「福祉職員キャリアパス対応型生涯研修課程」を職員育成の基幹研修と位置付けています。当該研修は、全国社会福祉協議会が作成したテキスト

トを使用し、全国様々な機関で実施されています。福祉職員のキャリアパスに応じた資質向上を段階的・体系的に図ることを大きな特徴としており、様々なグループワークや個人ワークに参加しながら、自らのキャリアについてあらためて考える内容となっています。

育成員会では、法人職員が講師となつて当該研修を独自開催できるように、これまで準備を進めてきました。（社会福祉法人で独自に開催しているところは稀だと聞いています。）令和4年度は11月と2月に「初任者コース」を無事開催し、合計17名の職員が受講できました。将来について考えてみることで、日々をより前向きに頑張れるようになったのではないかと考えています。また、内部で実施することにより、法人内他事業所の職員同士で横のつながりを作りながら、自己啓発できたのは受講者にとって大きな収穫になったと考えています。



令和5年度は、「初任者コース」と併せて「チームリーダーコース」も実施を予定しています。

施設紹介

友愛デイサービスセンター

私たちが大切にしているもの
～相手の立場に立つて、
その思いに共感する感性～

友愛デイサービスセンターは、平成4年（1992年）に身体障害者の居宅支援を目的としたデイサービス事業と短期入所事業を世田谷区より受託し、事業が始まりました。平成18年（2006年）には、障害者総合支援法に基づく生活介護事業と短期入所事業の指定を受け、お陰をもちまして、今年、設立32年目を迎えました。

生活介護事業は、定員20名。重症心身障害者の方がご利用されており、喀痰吸引や経管栄養をはじめ、発作時の対応などに医師の指示書に基づく支援を要する医療的ケアの必要な方も多く利用されています。私たちの目の下での悩みは、重症心身障害

のあるご利用者を支援するには事業スペースが手狭なこと。皆様からも狭隘なスペースに対するご意見を頂くものの、詮方ない状況は心苦しい限りです。しかしながら、私たちにとってはまさに「逆境は成長の糧」。設備が狭いゆえに職員の安全配慮に対する意識は研ぎ澄まされ、職員間の連携は強固になり、支援力は修練されて、今では「設備は狭いが支援は一流」が私たちの信条となっています。

短期入所事業は、定員3名。ご家庭において介護を受けることが一時的に困難となった重症心身障害児者の皆様に短期間宿泊していただき、介護するご家族のレスパイトケアはもちろんのこと、ご利用者がご家族と離れ、自分らしさや自立心を育む重要な役割を担っております。安全なサービスを提供するために、ご利用者1名に対し介護スタッフ1名を配置する手厚い体制を整えるとともに、協力会社と連携しながら、ご利

用者やご家族の意向を尊重し、ご利用者の自己実現に向けた支援に努めております。短期入所に関してお困りのことがございましたら、是非ご相談ください。

医療的ケアの有無に関わらず、重症心身障害者の方々に安心してご利用いただくために私たちが大切にしているもの、それは皆様の立場に立つてその思いに共感する感性です。社会福祉法人友愛十字会は、

「共に生きる」・・・感じる・創る・つながる・・・を法人理念に定め、その理念を実現するために9つの実践指針を掲げていますが、その第一項に掲げているのが「相手の立場に立ち、その思いに共感します」という指針です。なぜ、この指針を最初に掲げているのか。それは第一義であり、すべてはこの指針から始まるからです。ご利用者やご家族に寄り添うことも、ご利用者の権利を護り高質なサービスを提供すること、相手の立場に立つてその思いに

共感できる感性を備えていてこそ、実現できるのだと思います。もちろんその感性は、ご利用者の立場を尊重する接遇マナーや共に働く仲間を大切にすることへも通じています。私たちはこの指針を重んじ、法人が最後に掲げる指針「地域社会から信頼を得て、期待される役割を果たします」までをしっかりと実践してまいります。今後ともご指導ご協力をどうぞよろしく願います。



施設紹介

港区立児童発達支援センター ぱお

令和2年4月に設立され、今年で4年目を迎えました。前身は、港区立障害保健福祉センター内にあった港区の単独事業である「こども療育パオ」です。そのパオを母体に、そこで働いていた職員を中心に、新たに採用した職員を加え南麻布に設置しました。今では80名の職員で、毎月600〜700名の発達に遅れのある、または気がかりがあるお子さんを支援しています。センターは6事業を抱える多機能型施設であり、職員はいくつもの事業を兼務しています。

下にはおの事業内容を分かりやすく図表にまとめてみました。

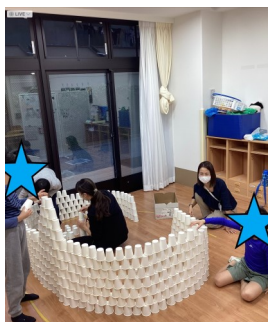
ちなみにセンター名に付く「ぱお」はモンゴルの遊牧民の移動式住居のパオ（包）から名付けられています。



児童発達支援センターぱおでは、発達に遅れのある、または気がかりがあるお子さんを対象に相談・通所を通して発達の支援をしています。

児童発達支援センター ぱおの事業

相談支援	総合相談	お子さんの発達に関する相談と支援を行います。
	計画相談・障害児相談	福祉サービスの利用に向けた利用計画を作成します。
通所支援	児童発達支援	未就学児を対象に通園・個別・グループ支援を実施します。
	放課後等デイサービス	就学児を対象として個別・グループ支援を実施します。
	保育所等訪問支援	スタッフが保育所等に訪問し集団生活適応を支援します。
	居宅訪問型児童発達支援	医療的ケアや重度の障害で外出困難なお子さんの自宅に訪問して療育を実施します。



放デイ活動の様子

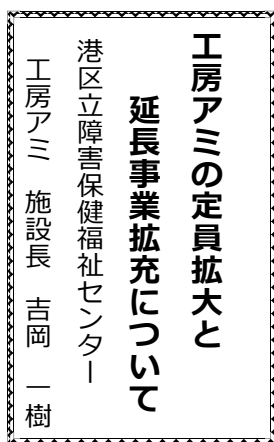
に相談員、心理士、生活支援員がチームを組み、地域に向いて発達の相談を受けます。また、通園では利用希望が定員を超え、待機児童が



通園活動の様子

ばおでは、年々増加する利用児に対応するため、総合相談に「はったつのひろば」というアウトリーチ型事業を開始しました。この事業は、児童発達支援センターに相談することとをためらう保護者の方やお子さんの発達に悩まれている保護者のため

港区立障害保健福祉センター工房アミは、これまで定員40名で運営して参りましたが、令和4年度末時点で定員を上回る45名の方が在籍しており、利用を希望される方が増加する見込みであったため、令和5年度から定員を50名に拡大することになりました。工房アミでは、令和3年度から支援内容別にアミ1



発生したことに対応し、クラスを分割した週2日通うクラスを新設しました。今後とも変化するニーズに対応し、必要な支援がごもたちに届くよう職員一同頑張りますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、港区立障害保健福祉センターでは、平成30年度から、「工房アミ」と「みなとワークアクテイ」のご利用者を対象に16時から18時までの延長事業を実施しております。延長事業につきましては、令和5年度より、ご家族支援の充実を目的として平日の開所日は全日延長事業を実施することにしたほか、ご家族の就労を理由として利用される場合には、月の利用日数に制限を設けないことに致したところで

(み空)、アミ2(檸檬)、アミ3(珊瑚)、アミ4(若草)の4クラス体制でサービスを提供しておりますが、新たにアミ5(常磐)クラスを設け、5クラス体制での運営を開始しています。

のニーズへ応えることができるように、港区等の関係機関にご協力いただきながら、職員一丸となって取り組んで参ります。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



「ましかくメモ」(ご利用者の作品がメモ帳になりました♪)

善意のかずかず

次の方々から利用者及び施設に対しましてご奉仕等を賜り、また、善意の金品のご寄贈を頂きましたこと
に対して、心より御礼申し上げます。
(令和4年12月1日～令和5年6月30日)

奉仕活動

- 世田谷更生館 伊藤 幸子
- 友愛デイサービス 岸井 豊子
- 友愛ホーム 谷口 裕太
- 友愛ホーム 山川 敏江
- 友愛ホーム 天野 勝弘
- 友愛ホーム 甲田 英子
- 友愛ホーム 土田 ケサヨ
- 友愛ホーム 渡辺 美樹
- 友愛ホーム まほの会
- 友愛ホーム 石井 公子
- 友愛ホーム 鎌田 セツ
- 友愛ホーム 川口 栄子
- 友愛ホーム 杉山 緑
- 友愛ホーム 寿乃田 雅子
- 友愛ホーム 田村 正子
- 友愛ホーム 森崎 千鶴
- 友愛ホーム 世田谷マジッククラブ
- 友愛ホーム 鎌田 セツ
- 友愛ホーム 西多 法子
- 友愛ホーム 野崎 眞喜子
- 友愛ホーム 山田 哲夫
- 友愛ホーム 天理教北多摩支部
- 友愛ホーム 港区立障害保健福祉センター
- 友愛ホーム 阿部 仁美
- 友愛ホーム 石井 美咲
- 友愛ホーム 石川 陽子
- 友愛ホーム 一山 恵一
- 友愛ホーム 伊藤 智子
- 友愛ホーム 岩崎 智子
- 友愛ホーム 大川 順平
- 友愛ホーム 岡田 藤子
- 友愛ホーム 小林 和子
- 友愛ホーム 定方 義和

寄付金

- 本部 松永 瑞静
- 友愛ホーム 上井 正次
- 友愛デイサービスセンター (株) 世田谷サービス公社
- 東京聴覚障害者支援センター 糟谷 昭雄
- 港区立障害保健福祉センター 東京港南マリナーロータリークラブ
- 港区立児童発達支援センター 伊藤 博子

寄付物品

- 世田谷更生館 東京善意銀行
- 友愛ホーム 石河 弘子
- 友愛ホーム 資生堂ジャパン (株)
- 友愛ホーム (株) ケンネット
- 友愛ホーム (株) サステナブル・プランニング
- 友愛ホーム 富士梱包紙器 (株)
- 友愛ホーム 後藤 陽子
- 友愛ホーム 佐々木 眞己
- 友愛ホーム 三尾 節子
- 友愛ホーム 東京聴覚障害者支援センター
- 友愛ホーム 東京善意銀行
- 友愛ホーム 厚生労働省
- 友愛ホーム 町田市役所
- 友愛ホーム 港区立児童発達支援センター (一社) 東京馬主協会

職員異動

(令和4年12月1日～令和5年6月30日)

昇任

- 友愛園長 小関 英利
- 友愛ホーム園長 武井 安浩
- 港区立児童発達支援センター 副センター長 増山 あゆみ

配置換え

- 友愛園長 鈴木 健太
- 友愛ホーム園長 早田 政治

併任

- 港区立児童発達支援センター

児童発達支援・総合相談・計画相談
障害児相談支援・放課後等デイサービス
保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援

- 施設長 小泉 達也

併任解除

港区立児童発達支援センター
放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援事業
施設長 増山 あゆみ

退任

- 友愛園長 藤田 康子
- 港区立児童発達支援センター
- 児童発達支援・総合相談事業 施設長 犬飼 知子

編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍で中止となっていた法人行事も完全復活とはいきませんが、徐々に動き出し、私たちも皆様とお会いできる機会が増えることを嬉しく思っております。これから暑い日が続きますので、健康に留意しましょう。

次号もお楽しみに。

第五十八号は、令和六年一月一日発行予定です。

ゆうあい編集委員会 副委員長

友愛園 園長 小関 英利

ゆうあい 第五十七号

令和五年七月三十一日

発行 社会福祉法人 友愛十字会
発行人 酒井 健治
所在地 東京都世田谷区
電話(〇三)三四一六一三二六四
http://www.yuai.or.jp